

各駅停車

回覧

社会福祉法人
豊田市福祉事業団
No.53 2023.12.10

～障がいのある方と共生するための情報紙～



地域と共に生きる

～豊田市福祉事業団の取り組み～



豊田市福祉事業団は、子どもの成長をサポートする「豊田市こども発達センター（西山町・和会町）」と、障がいのある方を支援する「豊田市障がい者総合支援センター（栄町・平芝町・喜多町）」を運営し、障がいのある子どもが生まれ育った地域で、ご家族とともに健やかに育ち、大人になっても安心して暮らせるノーマライゼーション社会の実現を目指しています。そのためには、ご本人・ご家族に対する専門的な支援だけでなく、地域の方からの温かい支えが大切です。

今回は障がいのあるお子さんが地域のこども園に安心して通えるよう、当事業団に1年間派遣され、障がい児支援について学び、地域のこども園に戻られた保育士の方の活動の様子を紹介します。



地域のこども園に通う

～保育士の支援活動～



私は、令和3年度に研修派遣保育士として1年間豊田市こども発達センターに勤務させていただきました。研修後、こども園で喀痰吸引^{かくたん}が必要なお子さんの担当保育士として勤務しました。

【センターから園に戻り 最初にしたこと】

お子さんの障がいの特性や、園内で起こりうる危険について、職員と共通理解を図りました。

その時は、医療的ケア児と関わったことのある職員がおらず、まずは職員みんなが安心してお子さんと関わることができるようになるといいなと思ったからです。そしてそこから、職員みんなで、お子さんに万が一のことが起こらないようにどうしたらいいのか、もし起こってしまった時はどのように対処していくのかを一緒に考えていくことができました。また、豊田市こども発達センターの職員の方々に安全かどうか確かめながら万全な体制づくりを心掛けていくことができました。



▲保育者と一緒に作ったお気に入りの飛行機を横に置いて、笑顔で喀痰吸引^{かくたん}をしてもらう様子。

【医療的ケア児と過ごす中で思うこと・まとめ】

医療的ケア児と園で一緒に過ごす中で、障がいのないお子さんからは「首に何つけてるの?」「どうしてしゃべれないの?」と聞かれることがあります。そんな時は「首で息をスーハーしているんだよ」「喉が苦しいから看護師さんのところへ行くよ」とありのままを伝えてきました。子ども達にありのままを受け止めてもらうためです。子ども達が『障がいがあり自分と違う子がいる』ということ、どのように受けとめるのか。それは、私達保育者の接し方や伝え方が大きく影響すると思います。“顔や性格が違いうように、いろんなお友達がいるね”“みんな違って、みんな良いよね”と保育者が子ども達のモデルとなり、子ども達の中に障がいのある子が当たり前にいる社会を作り、園や地域での共生が進んでいくといいと考えています。また、その子ども達の姿から、障がいのないお子さんの保護者にとっても、育ち合いの良さが伝わっていくといいと考えています。

地域の方とのつながりを大切にする活動を行っています

豊田市障がい者総合支援センター暖（※1）では、空き缶回収や新聞サークルなど、地域に出かける活動を行っています。

空き缶回収



暖周辺のお宅を訪問してアルミ缶の回収を行う活動です。回収日に、玄関先に空き缶を準備してくださっているお宅もあれば、インターホンを押すと缶を持って出てきてくださる方もいます。回収活動中に「おはよう！元気？」と声をかけてくださる方もいて、地域の方にお会いし挨拶するのが、楽しみの一つとなっています。



新聞サークル



地域のお店や公共施設などへ出かけ、メンバーそれぞれの視点で取材し、障がいのある方でも安心して利用できる場所を年に1回冊子にして紹介しています。自分の興味のある場所へ行き、お店の方や関係者の方への取材や写真撮影を通じて、地域の方と交流しています。



障がいのある方々のことを知ってもらえるよう、
今後も地域の方とのつながりを大切にしていきたいと思います。

※1 暖（平芝町）：重度の知的障がいと重度の身体障がいのある18歳以上の方が通う施設

こどもひろば 託児ボランティア募集！

かわいい笑顔に囲まれながら、
穏やかな時間を過ごしませんか？

こどもひろば託児ボランティア（※2）のおかげで、家族通園の保護者の方は、療育中にお子さんとしっかり向き合うことができ、大きな力をいただいています。やさしいボランティアのみなさんは、子どもたち、保護者の方、こども発達センターにとってかけがえのない存在です。

◆活動場所 豊田市こども発達センター内 こどもひろば（豊田市西山町2-19）

◆活動日時 月曜日～金曜日（祝日除く）10時～12時30分

＊月に1回程度でも構いません。

◆お問合せ 豊田市こども発達センター 海老子（なのはな施設長）

電話（0565）32-8983

FAX（0565）32-8902

Email：nanohana-center@hm.aitai.ne.jp



※2 こどもひろば託児ボランティア：豊田市こども発達センターに通園する子どもたちの兄弟姉妹（概ね0歳から3歳）の託児をしていただける方

編集発行 社会福祉法人 豊田市福祉事業団

ホームページ

<http://www.fukushijigyodan.toyota.aichi.jp>



〒471-0062 豊田市西山町2-19

電話（0565）32-8980

FAX（0565）32-8987

Email：fukushijigyodan@city.toyota.aichi.jp